

令和7年9月号

西部地域包括支援センターだより

今月のテーマは『**地域で認知症とともに
いきいきと暮らす**』



9月21日は「世界アルツハイマーデー」

1994年に制定されたこの日は、世界中で「**認知症への理解を深める日**」とされています。

認知症は誰もが向き合う可能性のあるテーマです。

「まだ自分には関係ない」と思っていませんか？そんな方にこそ、少し立ち止まって考えてみてほしいです。

「もし自分が認知症になったら…？」

どこで暮らしたいですか？

どんなサポートがあったら安心ですか？

誰にそばにいてほしいですか？

「**自分ごと**」
として

元気な今こそ **“備え”**と **“認知症の正しい理解”**が大切です



新しい「認知症観」って？



認知症になっても、すべてができなくなるわけではありません。

- ・できること
- ・やりたいこと
- ・生きがい

があります。

地域でのつながりの中で、自分らしく暮らし続けることが大切です。自分の力を活かし、周囲と支え合いながら共に生きる——それがこれからの認知症との向き合い方(考え方)です。

【裏面あり】

信州オレンジサミット2025in松本のご案内

認知症との向き合い方のヒント

～ 認知症とともに笑顔で暮らす街を～
9月27日(土) ホテルブエナビスタ



タイムスケジュール

- 12:40 開場
- 13:00 オープニング
主催挨拶／映画紹介
- 13:10 映画「オレンジランプ」100分
一休憩
- 15:00 フォーラム「知って、支えて、笑い合う」
▼発言者
松本市・本人・家族・コーディネーター・
専門職(OT・介護)・その他の専門職
- 15:45 エンディング
特別動画上映
丹野さんが語る「認知症って」・「症状と工夫」

〈お申し込み〉

表記のQRコードまたは下記
URLからお申し込みください



<https://forms.gle/hqKMfX2yULGF935v8>

〈お問合せ〉

信州オレンジサミット2025 実行委員会
TEL: 090-4152-2434
Mail: nozomi@ca.wakwak.com

< story >

妻・真央や二人の娘と暮らす39歳の只野晃一は、充実した日々を送るカーディーラーのトップ営業マン。そんな彼に、顧客の名前を忘れるなどの異変が訪れる。下された診断は、「若年性アルツハイマー型認知症」。驚き、戸惑い、不安に押しつぶされていく晃一は、とうとう退社も決意する。心配のあまり何でもしてあげようとする真央。しかし、ある出会いがきっかけで二人の意識が変わる。「人生を諦めなくていい」と気づいた彼ら夫婦を取り巻く世界が変わっていく…。

認知症思いやり相談会のお知らせ

- 《認知症を専門とする医師に無料で相談することができます》
- 予約は相談日の2週間前までにお願いします。(先着順)
- 【日時】令和7年9月26日(金)午後1時30分～4時30分
- 【場所】市役所 本庁舎 北別棟1階 高齢福祉課相談室1
- 【予約・お問合せ先】松本市役所高齢福祉課 福祉担当

電話: 34-3237

またはお近くの地域包括支援センターまで



西部地域包括支援センター

TEL 87-1572 FAX 87-1573